

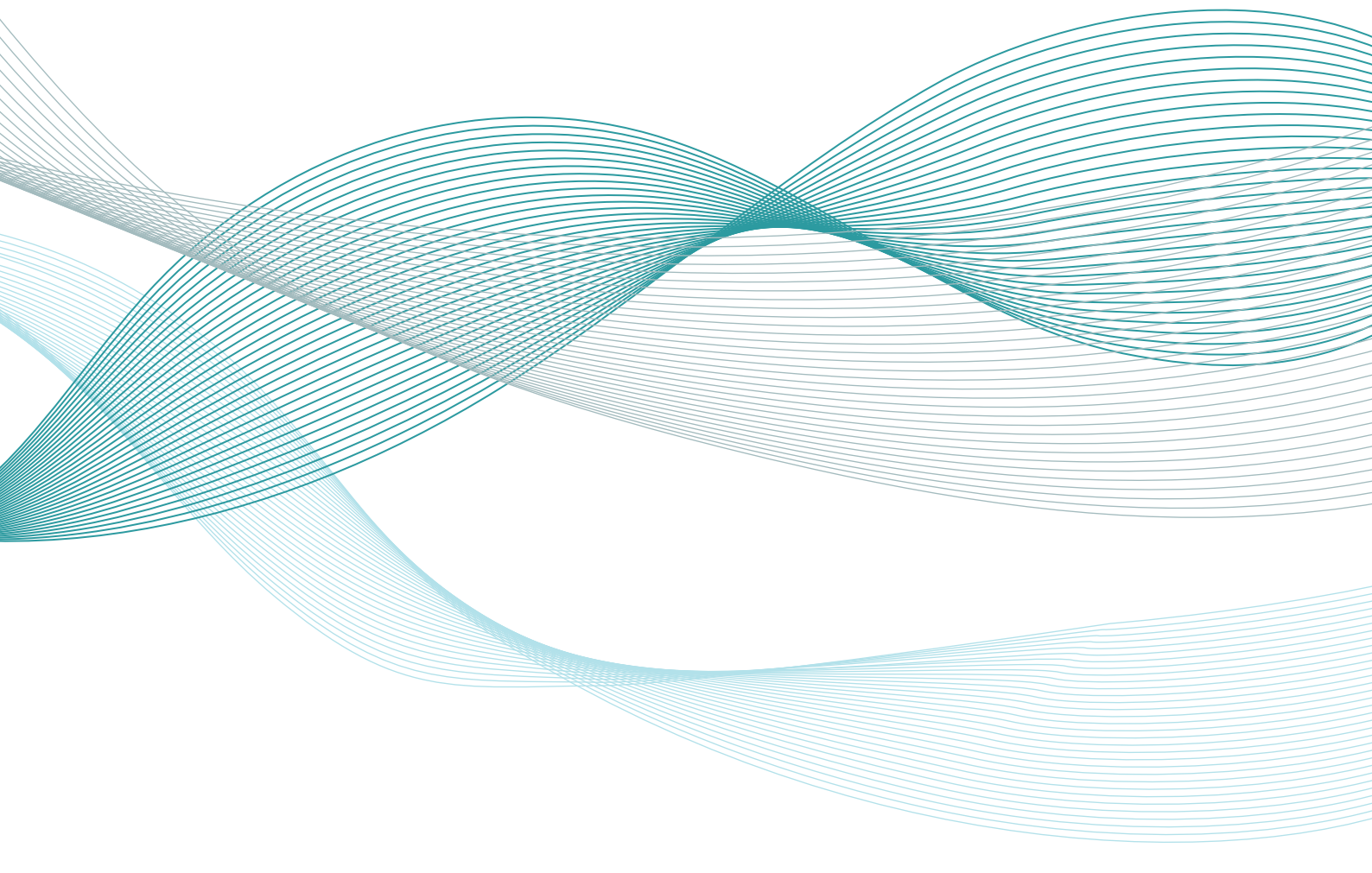
令和 5 (2023) 年 4 月 1 日～
令和 6 (2024) 年 3 月 31 日

日本財団助成事業

『聴覚障害者のための
キャリアサポートセンターの設置』

令和 5 (2023) 年度 活動報告書

(事業 ID : 2023008988)



【目次】

1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要	
(1) 背景	1
(2) 当事業の目的	1
(3) 事業担当者	2
(4) 事業計画（全体）	2
(5) 事業計画（2023年度）	3
2. 実態調査（オンライン海外視察）の実施	4
3. 聴覚障害者の就労に関する支援	
(1) 社会人聴覚障害者への支援	5
(2) 聴覚障害学生への支援	12
(3) 企業への支援	15
(4) 聴覚障害者のキャリアに関する知見の共有	15
4. 拠点の整備	
(1) 当事業ホームページの拡充	16
(2) SNSの活用	16
(3) 相談予約システムの開発	16
5. 最終事業報告会	18

1. 日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」の概要

(1) 背景

大学へ進学する障害学生数が増加傾向にある昨今、在学中の修学支援については、個々の大学における障害学生支援室の設置や筑波技術大学に事務局を置く日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)をはじめとした大学間連携体制の構築が着々と進められてきました。しかし、卒業後を見据えたキャリア支援の取り組みは緒に就いたばかりで、特に、コミュニケーションに不自由さがある聴覚障害学生の利用を見込んで情報保障等の体制を整備しているサービスは、ほとんど見られません。聴覚障害学生が長期的なキャリアを見据えて進路選択をするための情報やロールモデル、就職後に悩みを共有する場、積極的なキャリアアップを目指す際の学びの場が不十分であるために、職務内容や職場環境とのミスマッチが生じ、短期間での離転職を余儀なくされるケースも少なくありません。

そこで、聴覚・視覚障害者を高度専門職業人として養成する使命を長年担ってきた本学として、学校卒業後の聴覚障害者のキャリア支援に関する取り組みを全国的に強化していく役割を担うべく、2019(平成31)年度～2023(令和5)年度の5カ年計画を構想し日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」を受託いたしました。

(2) 当事業の目的

当事業では、聴覚障害学生が自らの進路を積極的に選択できるための情報や機会の提供、就職後の負担を低減するための職場環境設定の提案、大学卒業後も学び続けられる場の整備などを通じて、多面的なキャリアサポート支援体制を構築することを目標としています。

<中長期的目標(2023年度の事業完了時まで)>

筑波技術大学ならびに全国3箇所に置かれた拠点大学等に聴覚障害者ライフ&キャリアサポートセンター(以下サポートセンター)(仮称)を設置します。サポートセンターには聴覚障害当事者を含む相談員を配置し、ここを拠点に聴覚障害のある社会人と現役学生、企業を繋ぐための相談・コンサルティング、各種セミナー開催等を行います。

<最終目標>

拠点ネットワークを全国に拡大し、すべての地域でサポートセンターを利用できる体制を構築します。聴覚障害学生が長期のインターンシップ経験を元に大学での学びを深められる支援モデルの提案・導入、小中学校・高等学校の児童生徒に対する幼少期からのキャリア教育の実践、職場における情報保障体制の提案等を通して、聴覚障害者が幼少期から将来社会で働く自分をイメージしながらキャリアを積み重ね、その力を職場等で発揮できる社会の実現を目指します。

(3) 事業担当者

河野 純大 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授 (当事業責任者)
 加藤 伸子 : 筑波技術大学 産業技術学部 教授
 白澤 麻弓 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授
 安 啓一 : 筑波技術大学 産業技術学部 准教授
 横井 聖宏 : 筑波技術大学 産業技術学部 講師
 後藤 由紀子 : 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教
 日下部 隆則 : 筑波技術大学 産業技術学部 特任助手
 田中 陽土 : 筑波技術大学 産業技術学部 研究員
 能美 由希子 : 筑波技術大学 産業技術学部 研究員
 松谷 朋美 : 筑波技術大学 産業技術学部 事務補佐員

(4) 事業計画 (全体)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
調査	・卒業生/社会人聴覚障害者を対象としたニーズ調査 ・海外視察調査 (RIT、ギャローデット等)	・他大学へのヒアリング (PEPNet-Japan 情報交換会)	・企業に対するヒアリング		
センター整備	・サポートセンター設置準備室の開設 ・オフィスの確保 ・人員の配置	・サポートセンターの開設 ・遠隔システム導入	・サポートセンター本格始動 ・人員の増員		
サテライトオフィス整備	・オフィスの確保 ・環境整備	・サテライトオフィス開設 ・遠隔システム導入	・サテライトオフィス本格始動		
Webサイト整備	・サーバー設置 ・HP 開設 ・SNS サイト構築に向けた準備	・SNS サイト開発	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充	・保守メンテナンス ・機能拡充
社会人対象事業	・相談窓口の開設 ・カタリバの開設 ・サポート講座の開催 (いずれも不定期)	・相談窓口の開設(週 2) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期)	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成	・相談窓口の開設(週 5) ・カタリバの開設(月 1) ・サポート講座の開催 (定期) ・教材作成
学生対象事業	・先輩の話を聞く会 (ランチトーク) ・会社説明会/集団面接の実施	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充	・相談窓口の開設 ・キャリア支援セミナーの開講 ・会社説明会/集団面接の開催 ・インターンシップ拡充
企業対象事業			・企業向け相談窓口の開設 ・上記ヒアリングを通じた情報交換	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催	・企業向け相談窓口の開設 ・企業向けセミナーの開催
他大学拠点整備		・上記ヒアリングを通じた情報交換	・支援拠点形成に向けた協議開始	・全国 3 か所に支援拠点設置準備室開設 ・相談窓口の開設 ・人員の配置 ・サポート講座開催	・全国拠点始動 ・相談窓口開設 ・サポート講座開催 ・キャリア支援セミナーの開催

なお、この計画は 2018 年度に行った当事業の助成申請時に作成したものであり、社会情勢の変化や事業の進捗状況等によって一部変更となる可能性があります。

(5) 事業計画 (2023 年度)

	内容	対象・方法	実施時期 (目安)
1.実態調査の実施	オンライン海外視察	先進的な事例に取り組んでいる海外の大学	6~1月
2.拠点の整備	(1)つくば・東京 オフィスの運用	筑波技術大学内拠点の運用・サテライトオフィス ならびに相談窓口の運用	通年
	(2)SNS の運用	SNS サイトなどのポータルサイトの整備と運用	通年
	(3)メールマガジン 配信・ピアサポ ーター登録シス テムの開発・運用	当事業のイベント情報などを配信、また当事業へ の協力者をピアサポーターとして登録するた めのシステムの開発・運用	~8月
	(4)相談スケジュー ル予約システム の開発	聴覚障害当事者や企業の方からの相談時のスケ ジュールを調整するための Web システムの開発	6~3月
	(5)他大学との連携 協議	聴覚障害者のキャリアサポート体制構築のため の他大学との連携協議	通年
3.社会人聴覚障害者 対象事業の実施	(1)相談窓口対応		通年
	(2)聴覚障害者のある社会人のための情報交換会の開催		通年
	(3)ライフ&キャリアサポート講座の開講		6月/8月/10 月/12月/2月
	(4)教材作成		通年
4.現役聴覚障害学生 対象事業の実施	(1)進路相談対応		通年
	(2)合同企業説明会の開催		5月
	(3)キャリア支援セミナーの開講		12月
	(4)先輩の話を聞く会の開催		2月
	(5)他大学を含めた合同就活セミナー		10月
	(6)インターンシップの拡充に関する検討		通年
5.企業対象事業の 実施	(1)ホームページからの相談受付		通年

2. 実態調査（オンライン海外視察）の実施

2024年3月21日に、オンライン講演会「ギャローデット大学のキャリアサポートセンターの取組を学ぶ」を開催しました。

講師に、ギャローデット大学キャリアサポートセンター長の Julie Tibbitt 氏をお迎えし、ギャローデット大学の学部構成、キャリアサポートセンターの位置づけ、サポートセンターのサービス内容などについてお話しいただきました。サービスとして、聴覚障害学生へのキャリアに関する情報提供や就職に関するさまざまなスキルに関する教育や、数多くの企業側とのネットワーキングイベントの開催などを実施しており、学部の教員、学生、雇用する企業側と連携していることがわかりました。

当日の情報保障は、講師の ASL を英語に通訳し、次に日本語音声から、手話通訳・文字通訳という順の逐語通訳で実施しました。

開催日程	概要	講師	参加者	参加者の参加満足度 (5段階評価)
2024年 3月21日 8:00～ 9:30	ギャローデット大学キャリアサポートセンターの取組 1.ギャローデット大学の概要 2.キャリアサポートセンターの位置づけ 3.キャリアサポートセンターの提供サービス 4.2023年活動実績	ギャローデット大学 キャリアサポート センター長 Julie Tibbitt 氏	20名	4.38

3. 聴覚障害者の就労に関する支援

(1) 社会人聴覚障害者への支援

① 相談対応

筑波技術大学教員、キャリアサポートセンタースタッフ等が相談対応を行っております。
つくば拠点、サテライトオフィスでの対面相談の他、メール相談も受け付けております。

対応実績：	対面相談	6件
	オンラインでの相談	69件
	メール・SNS等を用いた相談	294件

② 「聴覚障害のある社会人ための情報交換会」の開催

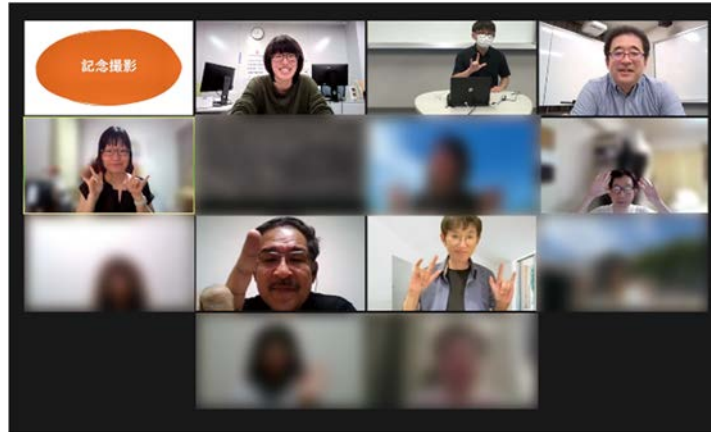
「聴覚障害のある社会人のための情報交換会」は、聴覚障害のある社会人の方々が働く上での工夫や悩みなどについて、ざっくばらんに“語り”ながら情報交換できる場を提供することを目的としたイベントです。

本年度は下記の6回、オンライン開催いたしました。

第1回目、第4回目はそれぞれメインテーマを設けて、参加者や筑波技術大学の教職員を交えて、情報交換や談話を実施しました。第2回目は会社員と手話カフェを兼業している聴覚障害当事者を話題提供者としてお招きしました。話題提供では学生時代と仕事での経験談や、現在の職場でのコミュニケーションや工夫、手話カフェ運営の経験からコミュニケーションを通じた繋がりの大切さについてお話いただきました。第3回目は初めての試みとして、女性限定企画を実施しました。企画では、ワーキングマザーであり、デザイナー・編集者として働く聴覚障害当事者を話題提供者にお招きし、出産後の勤務形態に関する話題や、育児中に活用しているガジェットなどに関する内容についてお話いただきました。第5回目は筑波技術大学の研究員が、聴覚障害プログラマーとして聴者だけでなく聴覚障害者とも協働したことがある立場から話題提供を行いました。話題提供では聴者との協働経験や、聴覚障害者のみでチームを組んで働いた経験について語られ、フリートークでは聴覚障害者がプロジェクトリーダーとして会議を進める際のコミュニケーションツールや信頼関係構築の工夫について議論しました。第6回目は初の試みとして参加者同士の交流の場を設け、メインテーマに沿った情報交換と交流会の二部構成で実施しました。交流会はスタッフによる司会進行や情報保障は設けず、参加者はZoomのチャット機能を用いて、各々が話したいことや聞きたいことを自由に語り合いました。

	開催日程	概要	ゲスト講師	参加者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
第1回	2023年 6月24日 19:30～ 21:00	<p>メインテーマ:「新型コロナ5類移行による働き方の変化について」</p> <p>1. グループごとの談話・情報交換 【情報保障】 グループ①各自が手話により発話 グループ②各自が手話・音声により発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳+スタッフによる触手話通訳</p> <p>2. 全体での情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳+スタッフによる触手話通訳</p>	なし	15名	4.50
第2回	2023年 7月28日 19:30～ 21:00	<p>メインテーマ:「どうやったら同僚に理解してもらえるの?!」</p> <p>1. 話題提供者からの話題提供 「私と会社と手話カフェと」 【情報保障】講師本人が音声で発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p> <p>2. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p>	綿貫 彩 氏	20名	4.86
第3回	2023年 10月20日 11:45～ 13:15	<p>メインテーマ:「ろう・難聴女性のワーク・ライフ・バランスを考える」</p> <p>1. 話題提供者からの話題提供 「ワーキングマザーとしての私のワークライフバランス」 【情報保障】講師本人が手話・音声で発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p> <p>2. グループごとの談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+手話通訳+PC文字通訳</p>	上野 智美 氏	7人	4.00
第4回	2023年 12月15日 19:00～ 21:00	<p>メインテーマ:「職場で使えている?使えていない?音声認識アプリ」</p> <p>全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p>	なし	13名	4.50
第5回	2024年 2月16日 19:00～ 21:00	<p>メインテーマ:「考えてみよう 聴覚障害者同士の業務コミュニケーション」</p> <p>1. 筑波技術大学教員からの講話 【情報保障】講師本人が手話で発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p> <p>2. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話+遠隔手話通訳+PC文字通訳</p>	当事業スタッフ 田中 陽土氏	11名	5.00

第 6 回	2024年 3月23日 14:00～ 17:00	<p>メインテーマ：「マニュアルにない業務の対応、どうしてる？～職場の暗黙のルール～」</p> <p>1. 全体での談話・情報交換 【情報保障】各自が手話・音声により発話 +遠隔手話通訳+PC文字通訳</p> <p>2. 交流会 【情報保障】なし（各自がチャットにより発話）</p>	なし	14名	4.75



第 1 回情報交換会



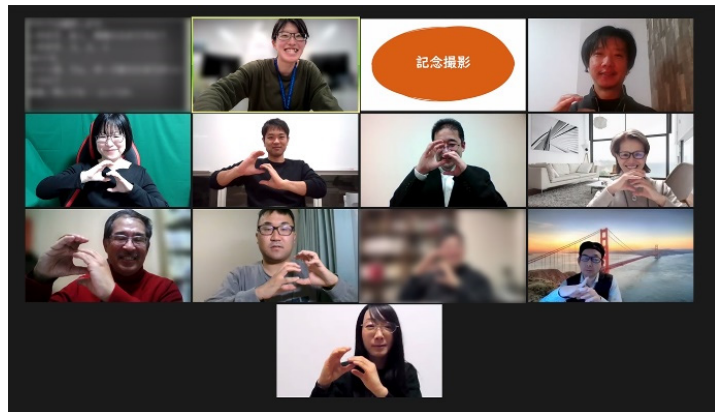
第 2 回情報交換会



第 3 回情報交換会



第 4 回情報交換会



第 5 回情報交換会



第 6 回情報交換会

③「ライフ&キャリアサポート講座」の開講

本年度は、スキルアップ、キャリアアップ、一般教養に関する各種講座・セミナーを計 15 日開催し、のべ 106 名の方にご参加いただきました。

基本的に Web 会議システム Zoom を用いたオンライン開催で行いました。「ライフプラン & マネープラン講座」「ビジネス電話講座」は Web 会議システム Zoom を用いたオンラインおよび対面のハイブリッド開催、「社会保険労務士試験対策講座」はオンデマンド開催で行いました。いずれの回についても参加者への情報保障として手話通訳と文字通訳を配置しました。

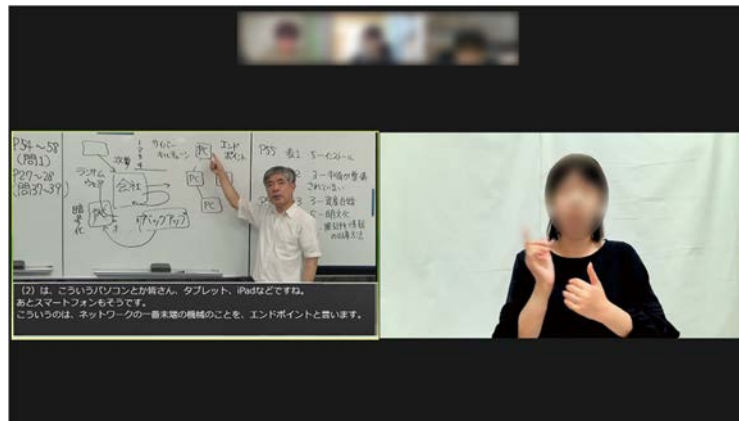
講座・セミナーの具体的な内容等は以下の通りです。

【スキルアップに関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
応用情報技術者 試験対策講座	(全4日間) 2023年9月6日 9月13日 9月20日 9月27日	情報処理技術者試験の中の「応用情報技術者試験」に関する重点学習項目の解説・演習	学外 講師 1名	4日間 のべ 10名	4.08
TOEIC 試験 対策講座	(全4日間) 2023年7月23日 8月6日 9月10日 10月8日	TOEIC 試験の Reading パートに関する解説と演習	学外 講師 1名	4日間 のべ 10名	4.29
英文ビジネス メールの書き方 講座	(全2日間) 2023年12月17日 2024年1月21日	英文ビジネスメールの基本的マナー、形式等に関する講義と演習	学外 講師 1名	2日間 のべ 7名	4.71

【キャリアアップに関する講座】

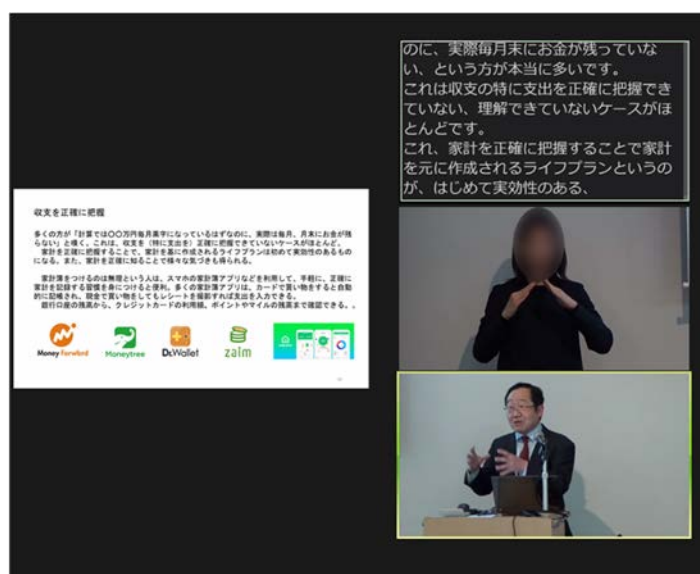
テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
ビジネス マネジメント の基礎講座	(全3日間) 2023年10月14日 11月19日 12月10日	ビジネスマネジャー検定の試験範囲から、マネジメントに必要な基礎知識を重点とした解説	学外 講師 1名	3日間 のべ 18名	4.13
社会保険 労務士 試験対策講座	(オンデマンド配信) 2023年3月10日 2024年3月 末日	国家資格 社会保険労務士試験に関する基本知識や重要事項となる内容を網羅した講座	学外 講師 1名	16名	3.67



応用情報技術者試験対策講座の様子 (左：講師+文字通訳、右：手話通訳)

【一般教養に関する講座】

テーマ	開催日程	概要	講師	受講者	参加者の参加満足度 (5段階評定)
ライフプラン & マネープラン 講座	2024年3月10日 対面 オンラインのハイブリッド開催	ライフプラン（人生設計・生活設計）に合わせたマネープランの対策（収支確認・保険・資産運用）についての内容を網羅した講座	学外講師 1名	31名	4.26
ビジネス電話 講座	2024年3月22日 対面 オンラインのハイブリッド開催	聴覚障害社会人の業務での電話活用について体験しながら学ぶ講座	学外講師 1名	14名	4.29



ライフプラン&マネープラン講座の様子（左：講師+文字通訳、右：手話通訳）

④教材作成

教材作成として、社会保険労務士試験対策のための講座用DVDに字幕を付与した動画（全30時間分）を作成しました。2024年3月末日でオンデマンド配信を終了し、企業等で人事労務を担当している方や社会保険労務士資格に関心のある方々に受講いただきました。社会保険労務士は国家資格であり、難易度の高い試験ですが、専門学校等で学ぼうと思っても十分な情報保障が配置されない場合も多いため、受講機会の得られなかった聴覚障害のある社会人の方々が関心を寄せてくださっています。また、ライフ&キャリアサポート講座で開講した4講座のべ13回分（約32時間）についても録画配信を行い、各自の都合に合わせて学びやすい学習環境を整えました。

(2) 聴覚障害学生への支援

① 相談対応

当事業担当者 1 名がキャリアサポーターとして、筑波技術大学の聴覚障害学生の進路相談・就職活動支援（履歴書添削、面接練習、障害特性の整理、等）を行っております。

対応実績： 対面相談 30 件
オンラインでの相談 6 件
メール・SNS を用いた相談 74 件

② 「先輩の話を聞く会」の開催

※筑波技術大学聴覚障害系就職委員会との共催

開催日程：2024 年 1 月 10 日(水)、1 月 15 日(月)各日 10:30-12:00

開催方法：対面・Zoom のハイブリッド開催

参加者：筑波技術大学学生 20 名(1/10)、25 名(1/15)のべ 45 名

概要：

講師に関西テレビ放送(株)報道部報道センターの永川智晴氏(1/10)、広島市中区福祉課障害福祉係の木村祥子氏(1/15)（いずれも筑波技術大学卒業生）をお招きし、就職・転職活動体験やご自身のキャリアと深く関わりのある「好きな言葉」「原点」等についてお話しいただいた。

情報保障：

講師が手話で話す他、手話通訳（手話から音声への読み取り通訳）・文字通訳を配置。

③聴覚障害学生対象！就職活動応援セミナー

本企画は、全国の高等教育機関に在席する聴覚障害学生を対象とし、聴覚障害学生が卒業後の進路を自ら積極的に選択および獲得し、職場等でチカラを発揮するために必要な視点や意欲を育むことを目的として、2022年度より開催しています。今年度のプログラムは「学生と社会人の違いを考えるワークショップ」、「聴覚障害学生版の就職活動基礎知識の提供」、「社会人聴覚障害学生の先輩による体験談」にて実施しました。

開催日程： 2023年12月8日(金) 13:30 - 16:30

開催方法： Zoom ミーティングを使用したオンライン開催

参加者： 聴覚障害学生 3名

(見学) 聴覚障害者施設 1名

概要(当日プログラム)：

- ・ワークショップ：社会に出る心構えを作ろう
講師：日下部 隆則（筑波技術大学産業技術学部）
- ・知っ得！就活基礎知識～聴覚障害学生 version～
講師：後藤 由紀子（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
- ・先輩に学ぶ！社会に出る前にできること
講師：筑波技術大学卒業生含む聴覚障害のある社会人 2名

情報保障：

手話通訳・文字通訳を配置し、Zoom 上に提示。



企画当日の記念写真

④Web アプリケーションエンジニア開発体験

【参照】 p.16 (3) 相談予約システムの開発

昨年度に引き続き、筑波技術大学学生を対象に、Web システムを開発するためのチーム開発体験を行いました。

実施期間：

2023年4月5日から10月11日まで、週に3~9時間のペースで実施

※昨年度の開発体験（2022年11月9日）から継続実施

実施方法： 対面

参加者： 筑波技術大学学生 3名

概要：

聴覚障害があり、情報系のシステム開発の勤務経験を持つ当事業の技術的整備の担当者（田中陽士）が、自らの経験を元に参加した学生に対して、Web アプリケーション開発を体験できる場を設けました。

具体的には、当事業で開発・運用予定である相談予約システムを題材に、学生それぞれに、システム設計、プログラミング、単体テストなどの業務を依頼し、学生たちが実際の開発の流れを一通り経験できるように行いました。

成果：

体験者にはそれぞれ、以下のように知識・経験を習得することができ、技術面での向上が見られました。

- アプリケーションの開発に必要なコーディングスキル（HTML、CSS、JavaScript、Ruby）
- ユーザーが Web アプリケーションをわかりやすく使いやすくするための Web デザインに関する知識
- Web アプリケーションの脆弱性を狙った攻撃（例：XSS（クロスサイト・スクリプティング）など）から身を守るためのセキュリティに関する基礎知識

また、学生たちには相談予約システムの開発初期の段階から、初回リリース（Web 上での公開・システム運用開始）の段階まで、長期間開発に関わっていただきましたが、以下のように精神面での成長も得られたように見受けられました。

- Web アプリケーションを最後まで開発することができたという達成感
- 経験の少ないプログラミング言語であっても、根気よく業務に取り組むことで、少しずつ自らの力のみで成し遂げることができるようになったという成功経験や自信

(3) 企業への支援

ホームページから受け付けた企業からの相談に対応しています。2023年度は、聴覚障害者対象の社内研修の開催に関する相談、流通業界への聴覚障害者の雇用拡大に関する相談などについて、面談並びに聴覚障害学生を対象とした体験授業イベントなどを実施しました。

(4) 聴覚障害者のキャリアに関する知見の共有

2023年7月に採用された特任助手(日下部)が、これまでの長年にわたるキャリア(職業経験)の知見を伝授/共有すること目的として、「思考ノート」という形で日々エッセイを書き続けました。当該助手は聴覚障害当事者として大学卒業後、大手情報産業系の外資企業に就職し、在職しながらの社会人大学院の経験、聴覚障害当事者として聞こえるメンバーだけの組織のマネジメント経験、私立大学での教員経験、企業退職後の私立大学での障害学生支援コーディネーターの経験など多岐にわたる職業経験をしています。この「思考ノート」はそれらの経験や膨大な読書量からの知見を、主に「聴覚障害」「キャリア」の視点で考察し、言語化したものです。

事業代表(河野)の感想を添えます。日下部氏はその長いキャリアの中で培われた、膨大な読書に支えられた日本語運用能力の大切さを説いています。耳がきこえないがゆえに、対話本を読み漁って、会話のやりとりの機微を学びいろいろな表現を身に着けたと講演などでも語っています。キャリア、に関してさまざまな文献から定義を調べ、自身の経験と絡めた考察を述べています。この思考ノートは、「社会で活躍する障害学生を育てる」から始まり、最終日最初のタイトルは「言葉の力」で締めくくられている。詳しい内容にご興味のある方は、事業問い合わせ先にお問い合わせください。

4. 拠点の整備

当事業ホームページはこちら！

⇒ <https://tsukutech-social.net/site/>



(1) 当事業ホームページの拡充

初年度開設したホームページ (<https://tsukutech-social.net/site/>) に、後述(3)の相談予約システムを利用するための案内ページを新たに作成し、HPの拡充を行いました。

(2) SNSの活用

2020年9月に開設した、当事業のLINE公式アカウントの友だち登録者数は2024年3月31日現在で**名となりました。

LINE公式アカウントID：@824fhwoj

(※名称：聴覚障害者のためのキャリアサポート)



(3) 相談予約システムの開発

聴覚障害の当事者（社会人や学生）の方々が多様な分野の知識・技術を持つ相談員の方と相談予約が可能なシステムを開発し、2023年11月1日から相談予約の受付を開始しました。

相談予約システム 相談員選択時の画面例

相談予約フォーム

【2. 日時指定】
候補日時を2, 3つ選択してください

候補1: 2024-03-21, 10:30-12:00 削除

候補2: 2024-03-22, 13:00-17:00 削除

候補3: 次へ進む

表示日付変更:

[前週](#) [1週間](#) [翌週](#)

○: 予約可能 ◦: 予約済 -: 予約不可

時間	3月18日(月)	3月19日(火)	3月20日(水)	3月21日(木)	3月22日(金)	3月23日(土)	3月24日(日)
6:00	-	-	-	-	-	-	-
6:30	-	-	-	-	-	-	-
7:00	-	-	-	-	-	-	-
7:30	-	-	-	-	-	-	-
8:00	-	-	-	-	-	-	-
8:30	-	-	-	-	-	-	-
9:00	○	○	-	○	○	-	-
9:30	○	○	-	○	○	-	-
10:00	○	○	-	○	○	-	-
10:30	○	○	-	○	○	-	-
11:00	○	○	-	○	○	-	-
11:30	○	○	-	○	○	-	-
12:00	○	○	-	○	○	-	-

相談予約システム 相談日時指定時の画面例

5. 最終事業報告会の実施

2024年3月14日に、Zoomを活用したオンライン形式で、本事業の最終事業報告会を実施しました。報告会では、当日は石原学長からの挨拶に続き、活動報告では各種事業（調査、現役学生対象事業、社会人対象事業、拠点整備事業）に関する成果を各事業担当者から報告しました。

話題提供では、事業を利用した社会人の立場からお二人にお話いただきました。両氏のコメントに共通していたことのひとつは「十分な情報保障の元での研修」の重要性でした。聴覚障害者が参加する研修にはまだまだ十分な情報保障が提供されていない現状がありますが、当事業が提供する講座は、その内容の理解に加え学びへのモチベーションを喚起し、その延長線上にキャリアアップがあるという、当事業が目指したものと通じる重要な教唆ともいえるものでした。

これらの報告を受けたコメンテーターの笠原桂子氏（住友ウィル株式会社）からは、成果報告や話題提供内容への丁寧なコメントだけではなく、報告者と話題提供者にそれぞれ適切な質問投げかけていただき、その応答によって活動成果がより深く確認できる時間となりました。

当日の事業報告会での資料を以下に示します。

日本財団助成事業 「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」 事業活動最終報告会



2024(令和6)年3月14日

14:00~16:00
(入室開始13:55予定)

Zoomによるリアルタイムオンライン配信

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

本日のプログラム

- 14:00~ はじめに(情報保障、お願い事項等)
- 14:05ごろ~ 本日の目的(開催趣旨)
- 14:10ごろ~ 5年間の事業活動報告(事業代表 河野純大他 事業メンバー)
- 15:00ごろ~ 事業利用者による話題提供
山内(やまのうち)実歌様、森香緒里様
- 15:25ごろ~ 有識者コメント
笠原桂子様(住重ウィル株式会社 人事グループ)
- 15:40ごろ~ 質疑応答他
- 15:55ごろ~ 閉会ご挨拶(筑波技術大学 学長 石原保志)

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

1. 本日の目的(当事業の成立)①

当事業は、

聴覚障害学生が自らの進路を積極的に選択できるための情報や機会の提供

就職後の負担を軽減するための職場環境設定の提案

大学卒業後も学び続けられる場の整備

などを通じた、多面的なキャリアサポート支援体制を構築することを目標として、

平成31年(2019年)に日本財団の助成を受けてスタートし、

おかげさまで、この3月度で無事に事業の満了を迎えることとなりました。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

1. 本日の目的(開催趣旨)②

本日は、

5年間の助成期間の満了を迎えるにあたり、

その活動の成果を確認するとともに、

「聴覚障害者の就労・キャリア全般」に関する今後の課題や

展望を確認することを目的とした活動報告会を

オンライン配信で開催するものです。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

1. 本日の目的(構成)③

本日の報告会は、以下の構成です

- ・事業活動の成果の報告
- ・事業利用者の話題提供による成果の確認
- ・コメンテーターによる今後の課題や展望の確認
- ・質疑応答

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

活動報告者(事業メンバー)

- | | |
|--------------|-------------|
| ① 概要 | 河野 純大(事業代表) |
| ② 社会人・企業対象事業 | 後藤由紀子 |
| ③ 社会人対象事業 | 松谷 朋美 |
| ④ 現役学生対象事業 | 能美 由希子 |
| ⑤ 拠点整備事業 | 田中 陽土 |

司会進行 日下部 隆則

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

聴覚障害者の職業生活・ 支援ニーズに関する実態調査 結果報告

担当：後藤 由紀子（筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教）



聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～概要～

* 調査の目的 *

「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」事業の始動に先立ち、**聴覚障害者の職業生活の実態と職業生活の質を高めるための支援ニーズを把握すること**を目的として、実施した。

* 調査方法 *

郵送・Web回答による自記式質問紙調査

* 調査対象 *

・筑波技術大学を卒業した、**聴覚障害のある社会人979名**
・聴覚障害者を雇用している**企業の担当者358名**

* 調査期間 *

令和元年9月～

* 分析 *

選択式で回答された箇所については単純集計を行った。
自由記述の箇所については共同研究者と協議の上で内容をカテゴリごとに分類し、各カテゴリについて命名した。

* 調査内容 *

本発表では、調査項目の内、以下の箇所を取り上げる。

聴覚障害のある社会人向け調査

- ① 回答者の属性 (選択式、単一回答)
- ② キャリアアップの目標の有無 (選択式、単一回答)
- ③ キャリアアップの目標を持っていない理由 (選択式、単一回答)
- ④ キャリアアップのために取り組んでいること (自由記述)
- ⑤ 大学への支援ニーズ<就職後> (選択式、複数回答)

※この他、職場内でのコミュニケーション方法や、職場で理解してもらって助かっていること/理解されずに困っていること、仕事に対する満足度等について尋ねた。

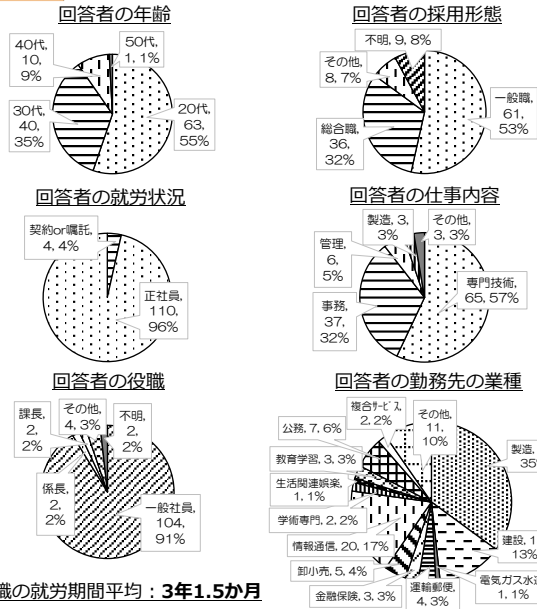
聴覚障害者を雇用している企業担当者向け調査

- ① 企業概要、回答者の属性 (選択式、単一回答)
- ② 聴覚障害社員のキャリアアップについて実施中の取組み (選択式、複数回答)
- ③ 聴覚障害社員のキャリアアップに関する課題 (自由記述)
- ④ 大学への支援ニーズ<就職後> (選択式、複数回答)

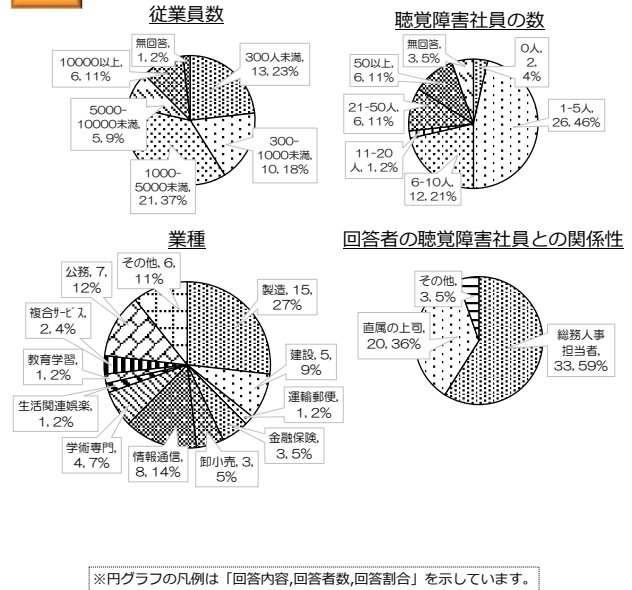
※この他、聴覚障害社員とのコミュニケーション方法等について尋ねた。

聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～結果①～

社会人 114件(回収率11.6%)



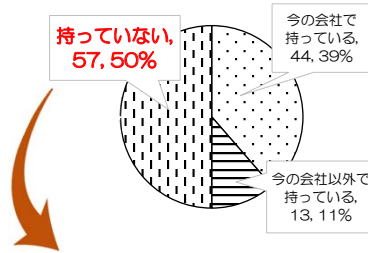
企業 56件(回収率15.6%)



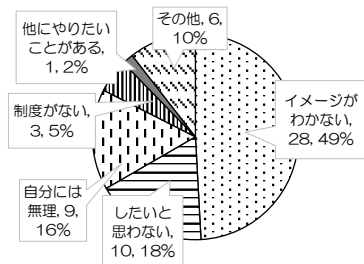
聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～結果②～

社会人

キャリアアップの目標の有無



キャリアアップの目標を持っていない理由



キャリアアップの目標 ※一部抜粋

【専門性の向上】

- 一級建築士の資格取得を目標としている。
- 自社で数えるくらいの検査エンジニア。
- ITプロフェッショナル (ITサービス分野) を目指している。
- Linux関連の資格をとって職域の幅を増やしたい。
- CADの取扱いや機械設計者として知識やノウハウで同僚に負けたくない。

【昇格・部署異動】

- チーフデザイナーとして活動していきたい。
- 正職員への登用。

【転職、起業、その他】

- 一つの会社にとどまらず、様々な会社でスキルアップ・キャリアアップしたい。
- 海外で仕事をすることを考えている。

キャリアアップのために取り組んでいること ※一部抜粋

【自主学習】

- 個人で仕事 (副業) をとったり、新しいスキルを学んだりしながら、転職活動している。
- 最新技術の動向を手エクする。
- 接客に関する資格の勉強や経験を積むこと。

【社内制度の活用】

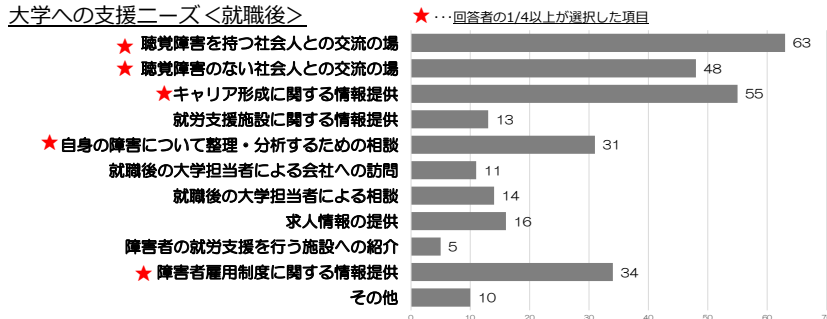
- 社内のアイデアコンテストへの応募。

【職場での心かけ】

- 業務割合を減らすよう業務割振の仕方の工夫。部下のメンバーがうまく回るように調整を早めに行うこと。
- 課長をよいしよする。
- 自身の業務をメンバーの人と共有することで理解してもらい、業務を分担できるようにすることで他の業務に関わる機会を増やしている。
- 会社の中の委員会活動やクラブ活動に積極的に取り組み、人のつながりを大切にすることで仕事もスムーズに進められるようにしています。
- 真面目に仕事に打ち込むこと。筆談・メール・手話あらゆる手段でしっかり周りとのコミュニケーションを取ること。明るく挨拶をすること。

聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～結果③～

社会人



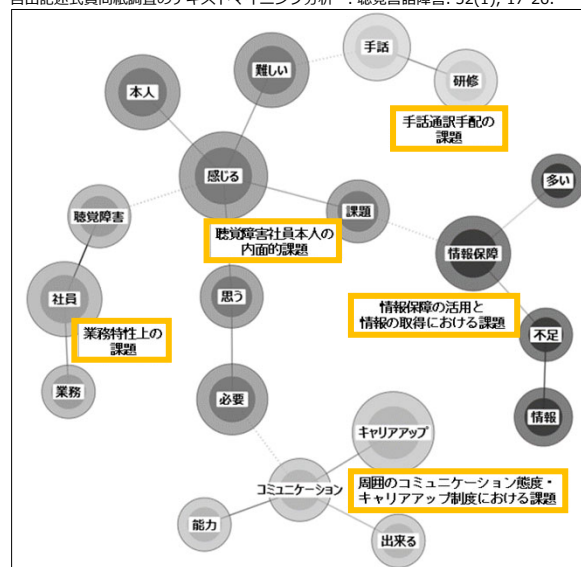
結果まとめ（聴覚障害のある社会人からの回答を受けて）

- ▶ 回答者の年齢は20代と30代の合計が9割を占め、就労期間の平均は3年超、9割以上が一般社員であり、就職してから間もない、**キャリアアップを今後に控えた世代が多かった**。
- ▶ 回答者の半数がキャリアアップの目標を持っておらず、その理由として最も多く回答されたのは「**イメージがわからない**」であった。
- ▶ **キャリアアップの目標**としては、設計やデザイン、IT系などの専門技術を高めて資格を取得すること、**会社内で昇格すること、転職・起業**することなどが挙げられた。**キャリアアップのために取り組んでいること**としては、**自主学习**や、社内での人間関係の充実やリーダーシップの発揮を目指した**個々人の日々の振る舞い・心構え**といったことが挙げられた。
- ▶ **大学に対する支援ニーズ**としては、**他の社会人との交流の場の提供**や、**キャリア形成・障害者雇用制度に関する情報提供**などについての要望が多かった。

聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～結果④～

企業 キャリアアップにおける課題（共起ネットワーク分析）

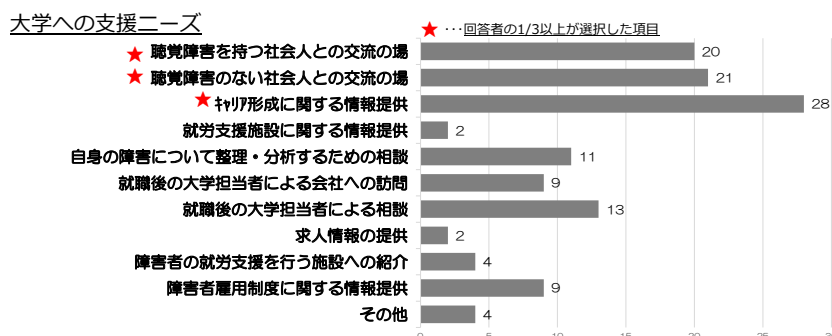
後藤由紀子, 横井聖宏, 河野純大, 八重田淳. (2023). 聴覚障害者のキャリアアップにおける課題—日常的な関わりを有する社員を対象とした自由記述式質問紙調査のテキストマイニング分析—. 聴覚言語障害, 52(1), 17-26.



- ・聞こえにくさが業務の遅延を生むために評価に繋がりにくいという作業上の課題
- ・聴覚障害によるコミュニケーション特性に配慮した教育指導体制が構築できない支援体制上の課題
- ・聴覚障害の特性に応じた評価基準やキャリアアッププログラムの必要性
- ・昇進に対する意欲の低さ
- ・情報保障について、聴覚障害社員による働きかけが少ない

聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～結果⑤～

企業



結果まとめ（聴覚障害者を雇用している企業の担当者からの回答を受けて）

- ▶ 回答の8割近くが従業員300人を超える大企業であったが、聴覚障害社員の人数は1～5人の企業が全体の約半数を占めた。
- ▶ 回答者の6割近くが総務・人事担当者として聴覚障害社員と接している方であった。
- ▶ 各社が聴覚障害社員のキャリアアップのために実施している取り組みとしては、他の社員が受講する研修に、手話通訳やパソコン要約筆記といった**情報保障を配置**することが最も多く行われていた。
- ▶ 聴覚障害社員のキャリアアップに関する課題としては、情報保障や周囲の社員のコミュニケーション態度・評価基準といった**外的環境に基づく要因**と、聴覚障害がある社員の意欲や情報保障の活用スキル等の**聴覚障害者に内在する課題**が挙げられた。
- ▶ 大学に対する支援ニーズとしては、**キャリア形成に関する情報提供**、他の社会人との**情報共有の場の提供**などについての要望が多かった。

聴覚障害者の職業生活・支援ニーズに関する実態調査 ～考察と展望～

調査結果に関する考察

【聴覚障害者のキャリアアップについて】

聴覚障害当事者については比較的若い世代の回答者が多かった本調査において、キャリアアップの目標が「無い」との回答が半数を占め、目標を持っていない主な理由は「イメージがわからない」ことであると分かった。このことから、**聴覚障害者のキャリアアップを取り巻く課題の一つは情報やロールモデルの少なさからイメージを持ちにくいこと**であると考えられる。

また、キャリアアップの目標を持っていない理由に関する回答の傾向からは、**キャリアアップに対して意欲的でなかったり能力的な困難さを感じていたりする聴覚障害者が一定数いる**ことが示唆された。聴覚障害当事者の意欲や主体性については企業担当者からも課題として捉えられている。

企業担当者の回答では、その他に**コミュニケーションの困難さから情報の取得や業務の効率化が進まず昇進に繋がりにくい**こと、手話通訳等の**情報保障のある研修が少なく学習の場が得にくい**ことが指摘されていた。個々の回答の中では、聴覚障害の特性に応じた**キャリアアッププログラムや評価制度の創設**といった解決策も提案されていた。

【大学への支援ニーズについて】

聴覚障害当事者・企業担当者に共通して高いニーズが確認されたのは、**他の社会人との交流の場の提供**と、**キャリア形成に関する情報提供**であった。このことから、やはり、**聴覚障害者のキャリアアップにおけるモデル像や事例等の情報、そしてそれらを提供する社会資源が不足している**状況がうかがえる。

聴覚障害当事者に対するインタビュー調査

2022年3月～2023年3月にかけて、10名に対するインタビュー調査を実施。
近日中に論文化を予定している。

聴覚障害のある社会人が、
社内の全体的風潮や人間関係等との相互作用の中で心理的な変容を迎え、
キャリア発達していくプロセスについて分析中である。

社会人相談対応・ 企業向け研修実施報告

担当：後藤 由紀子（筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教）

社会人相談対応

相談対応件数

2019年度

対面、オンライン：7件
メール、SNS等：111件

2020年度

対面、オンライン：14件
メール、SNS等：149件

2021年度

対面、オンライン：85件（内2件はオンライン相談会）
メール、SNS等：202件

2022年度

対面、オンライン：84件
メール、SNS等：198件

相談内容

…職場における人間関係、気持ちの整理の仕方、合理的配慮の依頼方法、
ビジネス文書・メールの日本語添削、等

企業向け研修

本学卒業生の就職先企業より依頼を受け、2021年度、2022年度に実施した。

実施内容

2021年度

講義「聴覚障害に関する基礎知識」
講義「聴覚障害がある社員とのコミュニケーション」

2022年度

講義「聴覚障害者のコミュニケーション」「口形あてクイズ」
動画「Teams音声認識字幕を用いた会議運営」※下図参照
演習「Zoomを用いた聴覚障害体験」



社会人対象事業

情報交換会（旧カタリバ） ライフ&キャリアサポート講座

報告者：松谷 朋美（筑波技術大学 事務補佐員）

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION  筑波技術大学

情報交換会（旧カタリバ）

2020年度

全2回実施
延べ65名参加



（2020年 第2回）

主なテーマ

- 副業、転職経験、職場でのコミュニケーション
- 社会人になって気づいたこと
- コロナ禍での就職経験、働き方、職場環境

2021年度

全4回実施
延べ93名参加



(2021年 第1回)

主なテーマ

- 勤務姿勢
- 管理職としての心構え
- 社会人として身に着けるコアスキル
- デフエンジニアの会
- 学生を交えての情報交換会
- ITスキル

2022年度

全5回実施
延べ77名参加



(2022年 第3回)

主なテーマ

- 聴覚障害者のテレワーク
- 職場での障害理解に関する取り組み
- 多様な働き方
- 障害理解とアイデンティティ
- 職場における合理的配慮

2023年度

全6回実施
延べ80名参加



(2023年 第2回)

主なテーマ

- 新型コロナ5類移行による働き方の変化
- どうやったら同僚に理解してもらえるの？！
私と会社と手話カフェと
- ろう・難聴女性のワーク・ライフ・バランスを考える
ワーキングマザーとしての私のワークライフバランス
- 職場で使えている？使えていない？音声認識アプリ
- 考えてみよう 聴覚障害者同士の業務コミュニケーション
- マニュアルにない業務の対応、どうしてる？～職場の暗黙のルール～

参加者からの声

- 皆、同じような悩みを抱えていて、一人ではないと思えた
- 普段のデフコミュニティでは出会わない方と話せる機会は貴重だと思った
- 参加者の皆さまのお話を聞くことができ、また解決のヒントをいただき、満足だった
- 話題提供者のお話、他の参加者の皆様の体験談は、私達きこえない人にとっての「エール」である

ライフ&キャリアサポート講座

2019年度

10件 開講
延べ71名参加



実施講座

(TOEIC対策講座)

- ・ 建築設計、グラフィックデザイン・インデザインに関する講座
- ・ 資格取得に役立つ講座
- ・ 人・組織のマネジメント講座
- ・ 給与明細がわかる税金セミナー

2020年度

4件 開講
延べ83名参加



実施講座

(TOEIC対策講座)

- ・ 応用情報技術者試験対策講座
- ・ TOEIC試験対策講座
- ・ 社会保険労務士試験対策講座
- ・ キャリアアップに向けた基礎知識

2021年度

5件 開講
延べ158名参加



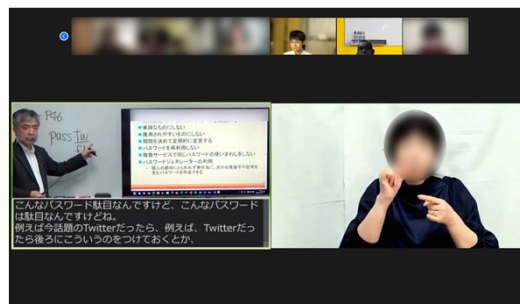
実施講座

(社会保険労務士試験対策講座)

- ・ 応用情報技術者試験対策講座
- ・ TOEIC試験対策講座
- ・ 英文ビジネスメールの書き方講座
- ・ 社会保険労務士試験対策講座
- ・ ビジネスマネジメントの基礎講座

2022年度

6件 開講
延べ134名参加



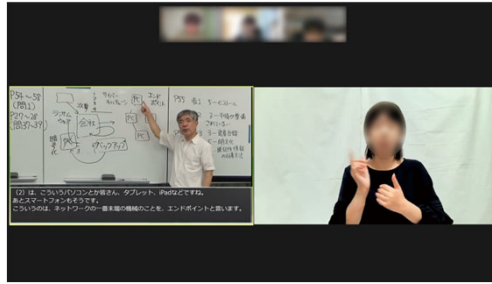
実施講座

(ネットワークセキュリティの基礎講座)

- ・ 応用情報技術者試験対策講座
- ・ TOEIC試験対策講座
- ・ 英文ビジネスメールの書き方講座
- ・ ビジネスマネジメントの基礎講座
- ・ ネットワークセキュリティーの基礎講座
- ・ 社会保険労務士試験対策講座 (オンデマンド配信)

2023年度

7件 開講
延べ106名参加



(応用情報技術者試験対策講座)

実施講座

- 応用情報技術者試験対策講座
- TOEIC試験対策講座
- 英文ビジネスメールの書き方講座
- ビジネスマネジメントの基礎講座
- 社会保険労務士試験対策講座（オンデマンド配信）
- ライフプラン&マネープラン講座
- ビジネス電話講座

参加者からの声

- 手話通訳・文字通訳付きで講師の説明を聞きながら学べるのはとても良かった。
- 普段受講する機会のない分野の研修を受講できてよかった。
- 受講者からの質問も、聴覚障害者ならではの視点からの質問でとても参考になった。
- オンライン講義の形式だと、全国どこからでも参加することができるので、多くの人が参加しやすいように感じた。

【現役学生対象事業】

就職活動応援セミナー（2022～2023年度実施）
PEPNet-Japanシンポジウム企画（2023年度実施）

報告担当：能美由希子
（筑波技術大学産業技術学部 研究員）

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

2022年度 聴覚障害学生対象！就職活動セミナー

聴覚障害学生対象！

就職活動応援セミナー

当日は手話通訳、文字通訳を配置します。

2月16日（木）
13:00～16:00

参加費無料



参加者募集中！

〆切：1月29日（日）

セミナーの詳細
参加申し込みは
こちら→



Supported by  国立大学法人 筑波技術大学  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

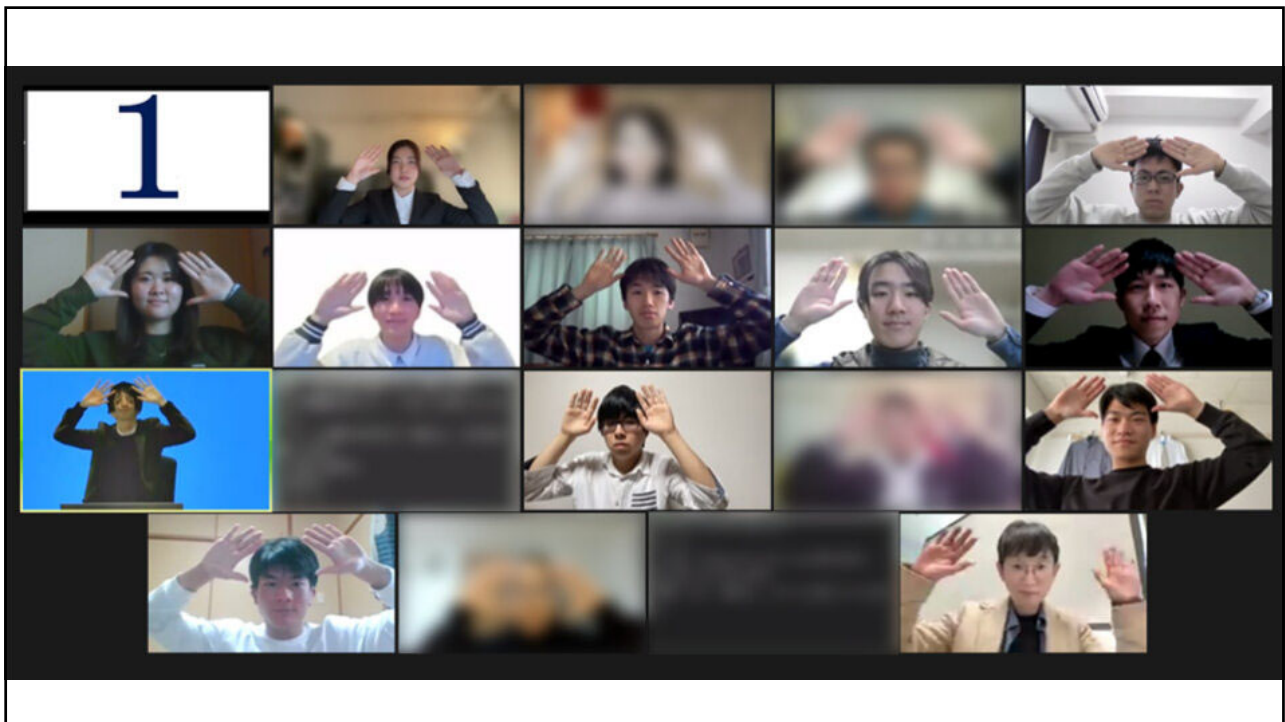
・聴覚障害社会人の先輩による
就職活動体験談

・セミナー＆ワーク（選択）

①自身のキャリアの軸を考える

②障害の伝え方を考える

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学



2023年度 聴覚障害学生対象!就職活動セミナー

聴覚障害学生対象!

就職活動スタート 基本のキ!
就活応援 オンラインセミナー

社会に出る心構えを作ろう!

～ 働かって何? 学生と社会人の違いは? ～



就活のモヤモヤの答え、一緒に探しましょう!

社会に出た後の聴覚障害者向けのサポートって何? 就活でも使える?
経験談を知りたいけど身近に聴覚障害の先輩がいない...

働かってどうということ?
今できることは?

2023年

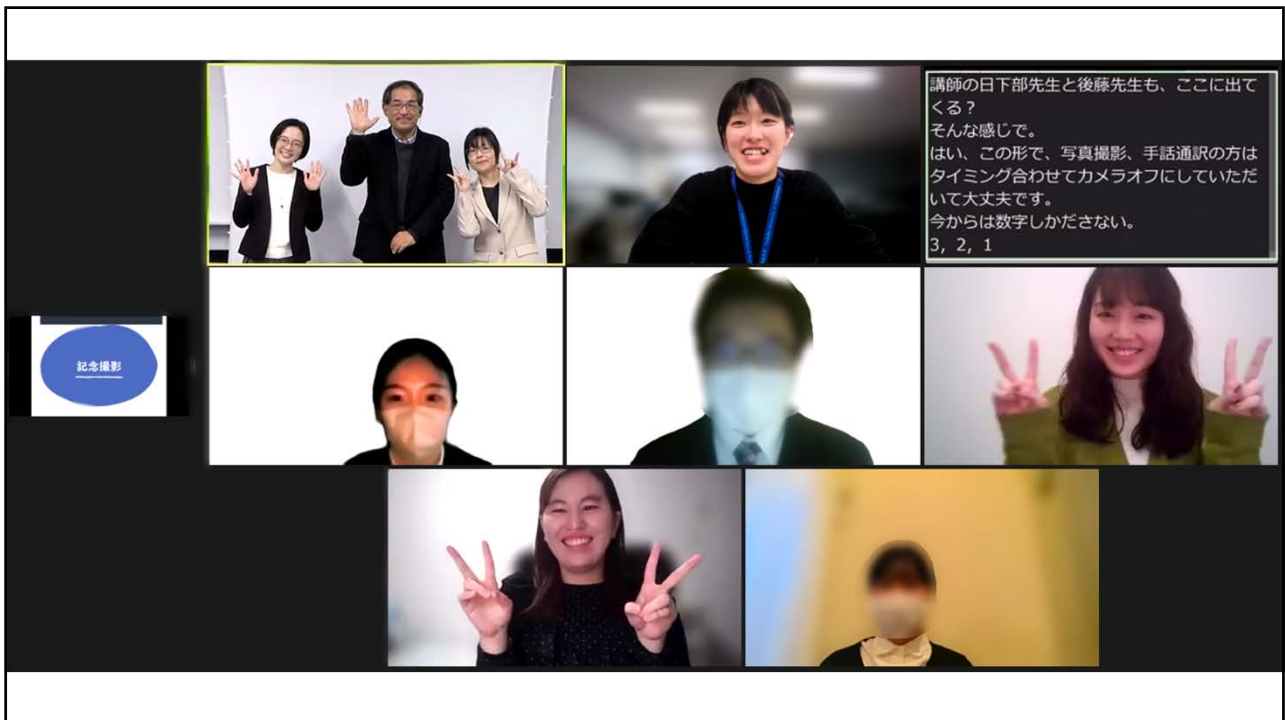
12月8日(金)

手話通訳・文字通訳付き

13:30 - 16:30 参加無料

- ・聴覚障害社会人の先輩による
就職活動体験談
- ・ワーク:社会に出る心構えを作る
- ・聴覚障害学生向け 就職活動の
基礎知識

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION 国立大学法人 筑波技術大学



講師の日下部先生と後藤先生も、ここに出てくる？
 そんな感じで。
 はい、この形で、写真撮影、手話通訳の方はタイミング合わせてカメラオフにさせていただいて大丈夫です。
 今からは数字しかださない。
 3, 2, 1

第19回日本聴覚障害学生 高等教育支援シンポジウム

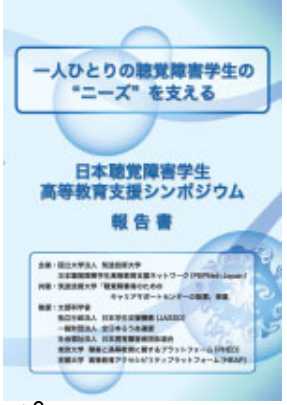
対面開催・後日配信
 2023年11月5日(日)

主催:

国立大学法人 筑波技術大学
 PEPNet-Japan

共催:

筑波技術大学「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」事業(日本財団助成)



Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 国立大学法人 筑波技術大学

セミナー

みんなで積極的に考えよう!聴覚障害学生のキャリア

司会:後藤 由紀子(筑波技術大学)

モデレーター:日下部 隆則(筑波技術大学)

登壇者:

藤野 友紀氏(札幌学院大学)

永川 智晴氏(関西テレビ放送株式会社 クリエティブ本部 報道局 報道センター)

笠原 桂子氏(住友重機械工業株式会社 人事本部 人事戦略部)

大田 竜聖氏(同志社大学 政策学部4年次生)

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

話題提供者(事業利用者)

山内実歌(やまのうち みか)様

株式会社 広濟堂ホールディングス

「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンター」の
講座を受講した結果について

森香緒里(もり かおり)様

高砂熱学工業 株式会社

テーマ「」

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION  国立大学法人 筑波技術大学

コメンテーター

笠原 桂子様
住重ウィル株式会社 人事グループ

Supported by  THE NIPPON 財団 FOUNDATION  筑波技術大学

【拠点整備事業】
技術的整備/学生との共同開発

2024/3/14
筑波技術大学 産業技術学部 研究員
田中陽土

1. 技術的整備の概要

広報ツールの整備 (Webサイト・SNS等の整備)

⇒当事業開催の講座やイベントの告知、聴覚障害に関連する情報提供や相談対応等ができるように広報ツールを整備しました。

(当事業内における) ITインフラの構築・保守

⇒メールサーバやオンラインストレージなどを開設することで、関係者方とのメールやデータの受け渡し等を安全かつ円滑に行えるように、便利なITインフラを構築できるようにしました。

現役学生対象事業の一環として
一部の開発で技大の学生と共同で行い、学生への技術&経験共有も行いました

Webアプリケーションの開発

⇒Webアプリケーションの開発を一から行うことで、メールマガジンや相談予約システムなど、既存のツールの活用のみでは難しい要素も実現できるようにしました。

2. 2019~2023年度の進捗

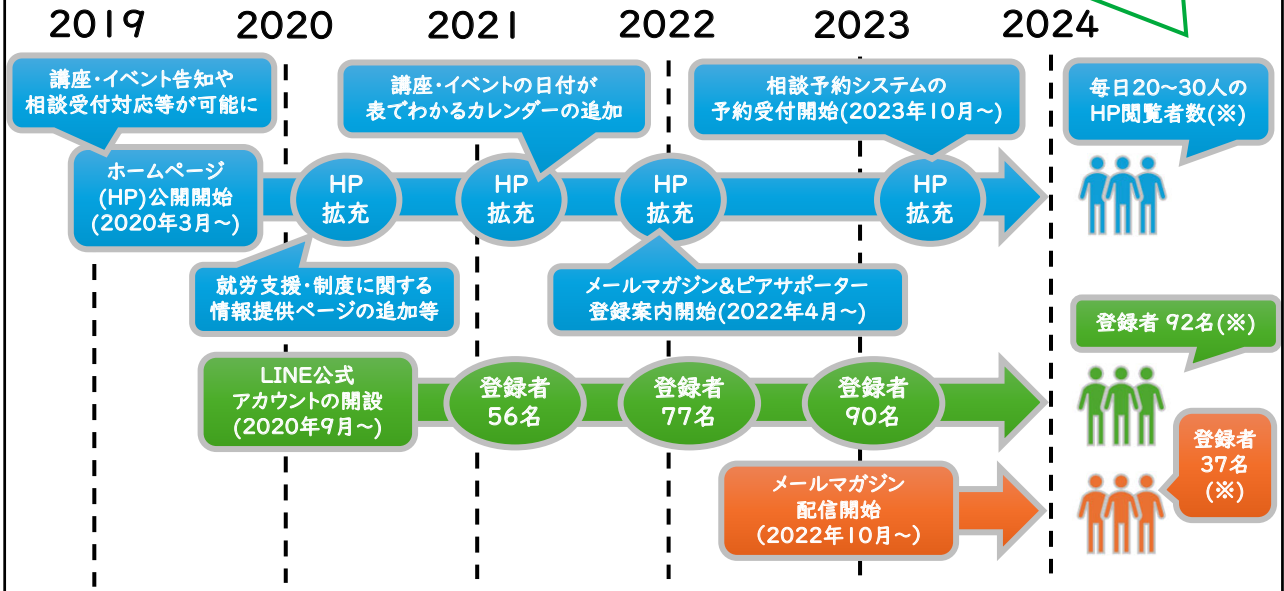
項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023
広報ツールの整備		・ホームページ (HP) 公開	・HPの拡充 ・LINE公式アカウント開設	・HPの拡充	・HPの拡充 ・メールマガジンの配信開始	・HPの拡充
ITインフラの構築・保守		・サーバーのレンタル ・メールサーバの開設	・Webメールの開設 ・オンラインストレージの開設 ・サーバーのメンテナンス実施	・サーバーのメンテナンス実施	・サーバーのメンテナンス実施	・サーバーのメンテナンス実施 ・Webメールとオンラインストレージのソフトウェア移行
Webアプリケーションの開発		・聴覚障害者社会人・企業向けの実情調査のためのWebアンケート開発	聴覚障害の社会人への外注も実施しました	・カレンダーの開発 ・相談記録システムの開発 ・メールマガジン&ピアサポーター(*)登録システムの開発	・相談予約システムの開発	・相談予約システムの開発(前年度から継続)

技大の学生と共同で
数か月間 開発

※ピアサポーターは「聴覚障害者のためのピアサポーター」の略称です。

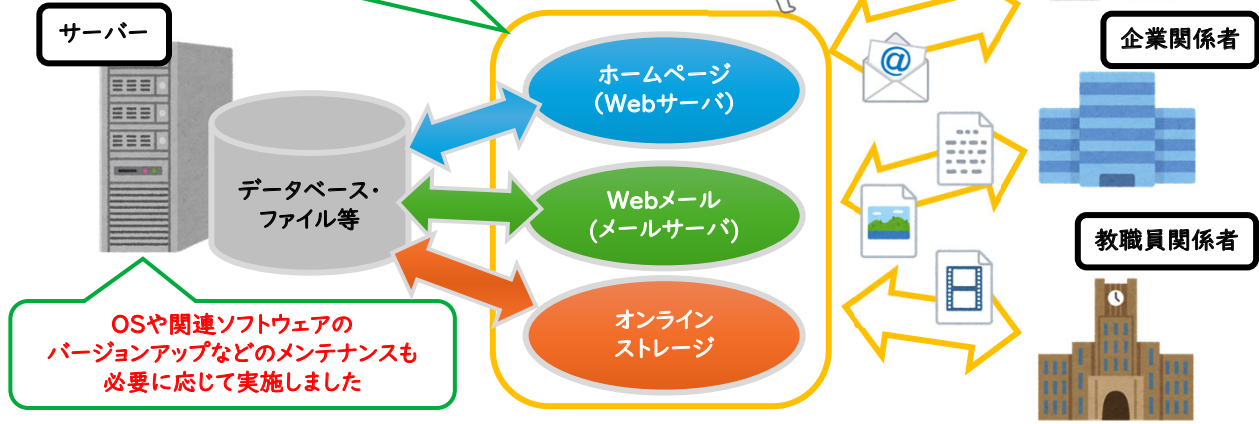
3-1. 広報ツールの整備

広報担当の方々の尽力もあり、各広報媒体の利用者数を合計すると約150人に達します。
※各数値は2024/2/29時点のもの



3-2. ITインフラの構築・保守

当事業のスタッフが関係者の方々とメールや資料などのデータをやり取りするときに安全かつ円滑に扱えるようにしました
(※メールやデータ等も当事業内で管理)



3-3.Webアプリケーションの開発(1)

私自身の初めてのWeb開発であり、この開発経験をきっかけに他のアプリ開発や学生への開発体験にもつながりました

実情調査のためのWebアンケート開発

⇒紙媒体に加えて、Web媒体でアンケート可能にすることで、アンケートを手軽に回答できるようにシステムを開発しました。その際、途中保存などの機能を複数搭載することでWebで回答する場合に起こりやすい問題をカバーできるように工夫しながら開発しました。

カレンダーの開発

⇒当事業開催の講座やイベントの日付をスムーズに確認できるように講座やイベント情報を入力すれば事業ホームページ上で表示できるシステムを開発しました。



3-3.Webアプリケーションの開発(2)

相談記録システムの開発

⇒聴覚障害者の社会人、企業、支援者等の方々からの相談対応の実績を管理するための記録システムを開発しました。

相談者の立場ごとに分類して相談時間・内容等を記録可能

聴覚障害者の個人事業主に外注して分担しながら開発しました



メールマガジン&ピアサポーター(※)登録システムの開発

⇒以下①, ②のどちらか、またはその両方を登録できるシステムを開発しました。
①当事業のイベントの開催情報等をメールで受け取り可能になること
②OBOG訪問や相談対応等の協力が可能なピアサポーターになること

登録目的に応じて登録に必要な項目を柔軟に変動可能



3-3.Webアプリケーションの開発(3)

相談予約システムの開発

⇒聴覚障害者が自らの希望に合わせて相談員を選択でき、予約可能なシステムを開発しました。

また、相談員は以下のどちらかの予約方法で設定できるようにしました。

- (1)相談希望者の予約申込時にそのまま予約日時が確定される
- (2)相談希望者が候補日時を2~3つ選択して仮予約した後に相談員が日時を決定する

相談員の選択や、事前に相談希望者の都合の良い時間を選んで予約可能

相談予約フォーム

【2. 日時指定】
候補日時を2, 3つ選択してください

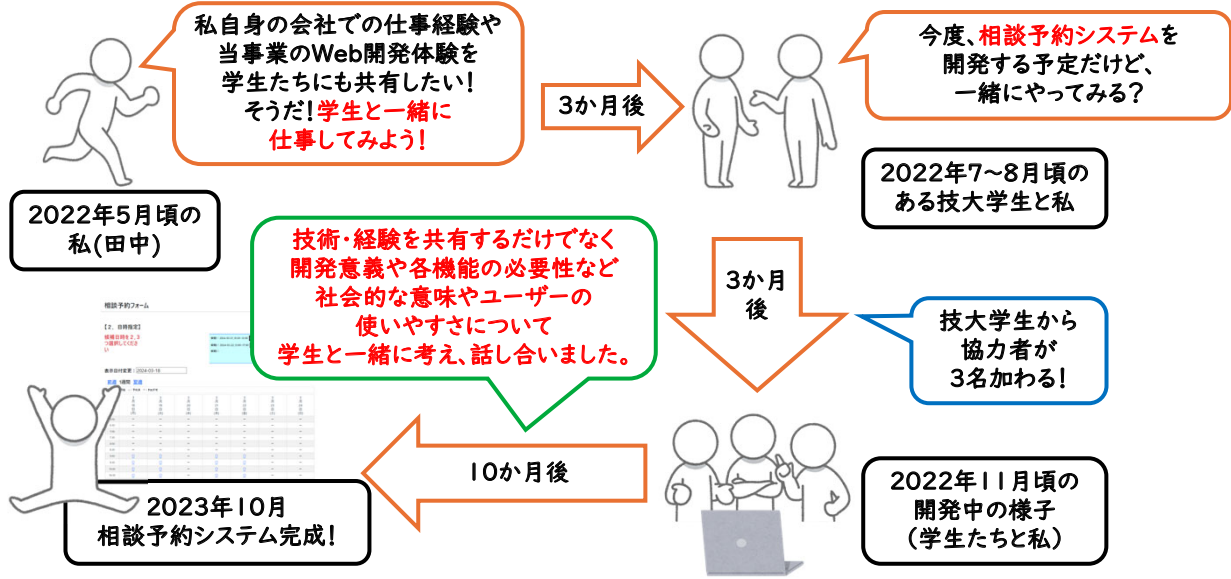
候補1: 2024-03-21, 10:30-12:00
候補2: 2024-03-22, 13:00-17:00

表示日付変更: 2024-03-18

時間	3月18日(月)	3月19日(火)	3月20日(水)	3月21日(木)	3月22日(金)	3月23日(土)	3月24日(日)
6:00	-	-	-	-	-	-	-
6:30	-	-	-	-	-	-	-
7:00	-	-	-	-	-	-	-
7:30	-	-	-	-	-	-	-
8:00	-	-	-	-	-	-	-
8:30	-	-	-	-	-	-	-
9:00	○	○	-	○	○	-	-
9:30	○	○	-	○	○	-	-
10:00	○	○	-	○	○	-	-
10:30	○	○	-	○	○	-	-
11:00	○	○	-	○	○	-	-

上記画面は学生と私の共同で開発しました(経緯は次スライドから説明します)

4-1.エンジニア開発体験



4-2.開発体験終了後の成果について

体験終了後、学生にはWebシステムの開発に必要な言語知識（HTML/CSS, JavaScript等）や問題解決力などの向上がみられましたが、以下の大きなものも得られたかと存じます。

- **依頼された開発業務を最後までやり遂げたという自信**
- **経験の少ないプログラミング言語でも自力で業務を成し遂げた成功経験**



体験者の中には、大学卒業後の進路を開発職か事務職のどちらかで迷っている方もいましたが、その方は今回の経験をきっかけに進路を開発職で希望する方向で決めて、後日、会社から内定をもらいました。
(※上記学生は2022年10月～2023年3月まで開発を体験)

また、聴覚障害者のみのチームで長期間開発するにあたって業務コミュニケーションに関するトラブルもありましたので、当事業開催の**2023年度 第5回情報交換会にて**そのコミュニケーション上の経験・ノウハウの共有も行いました。



日本財団助成事業「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」
令和 5（2023）年度活動報告書

執筆・編集：

筑波技術大学 産業技術学部	河野 純大
障害者高等教育研究支援センター	後藤 由紀子
産業技術学部	日下部 隆則
産業技術学部	田中 陽土
産業技術学部	能美 由希子
産業技術学部	松谷 朋美

事業担当者：

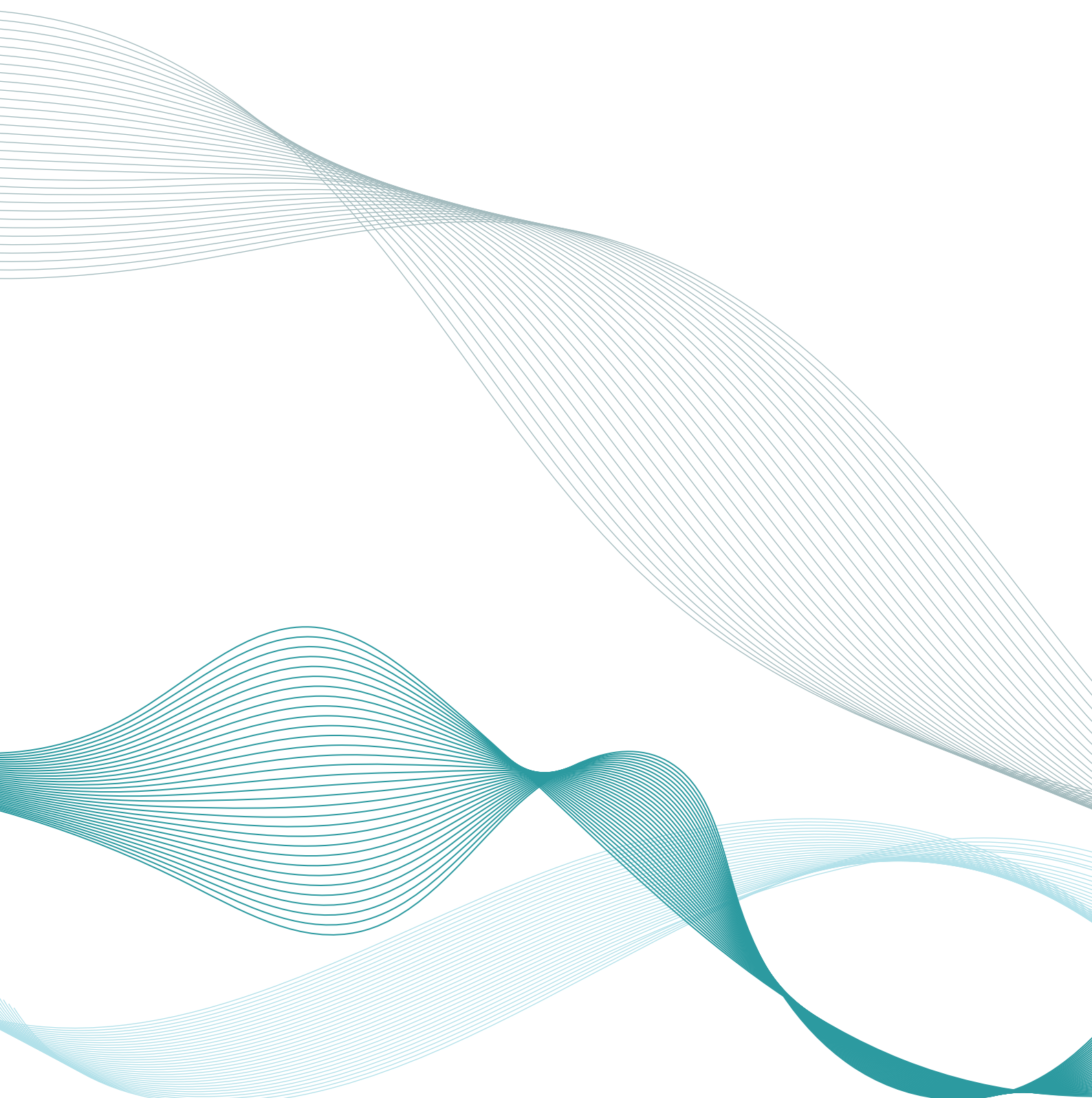
河野 純大、加藤 伸子、白澤 麻弓、安 啓一、横井 聖宏、
後藤 由紀子、日下部 隆則、田中 陽土、能美 由希子、松谷 朋美

発行：

日本財団奨学寄付金
「聴覚障害者のためのキャリアサポートセンターの設置」事業 つくば拠点
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
国立大学法人筑波技術大学 総合研究棟 R207 室
TEL, FAX: 029-858-9021 E-mail: career_support@tsukutech-social.net

発行日：

令和 6（2024）年 6 月



当事業ホームページ

<https://tsukutach-social.net/site/>

